



令和元年7月25日

豊川市政記者クラブ加盟社 各位

友好都市提携 10周年を記念して無錫市 新呉区と記念品を交換しました。

豊川市は、2009年4月に中国江蘇省無錫市新呉区と友好都市提携を結び、今年で10年目となります。

そこで下記の日程で副市長始め5名の豊川市行政使節団が無錫市新呉区を訪問し、お互いに記念品を交換しました。

記

1 訪問期間

令和元年7月10日（水）から7月12日（金）まで

※使節団は令和元年7月10日（水）の夜に無錫市新呉区に入りました。

7月11日（木）は、新呉区の展示センター（資料館）や中学生使節団で交流のある新城中学校などを視察しました。視察終了後に新呉区内のホテルで新呉区の王進健書記ら幹部と会見し、記念品を相互交換しました。

7月12日（金）の朝には新呉区を出発し、夜に豊川市に帰国しました。

2 訪問者

豊川市副市長 竹本 幸夫

豊川市議会議長 松下 広和

豊川市教育委員会教育長 高本 訓久

始め随行職員2名の計5名

3 記念品交換式

日時：7月11日（木）午後5時から午後5時30分まで

場所：無錫市新呉区のワールドホテルグランド

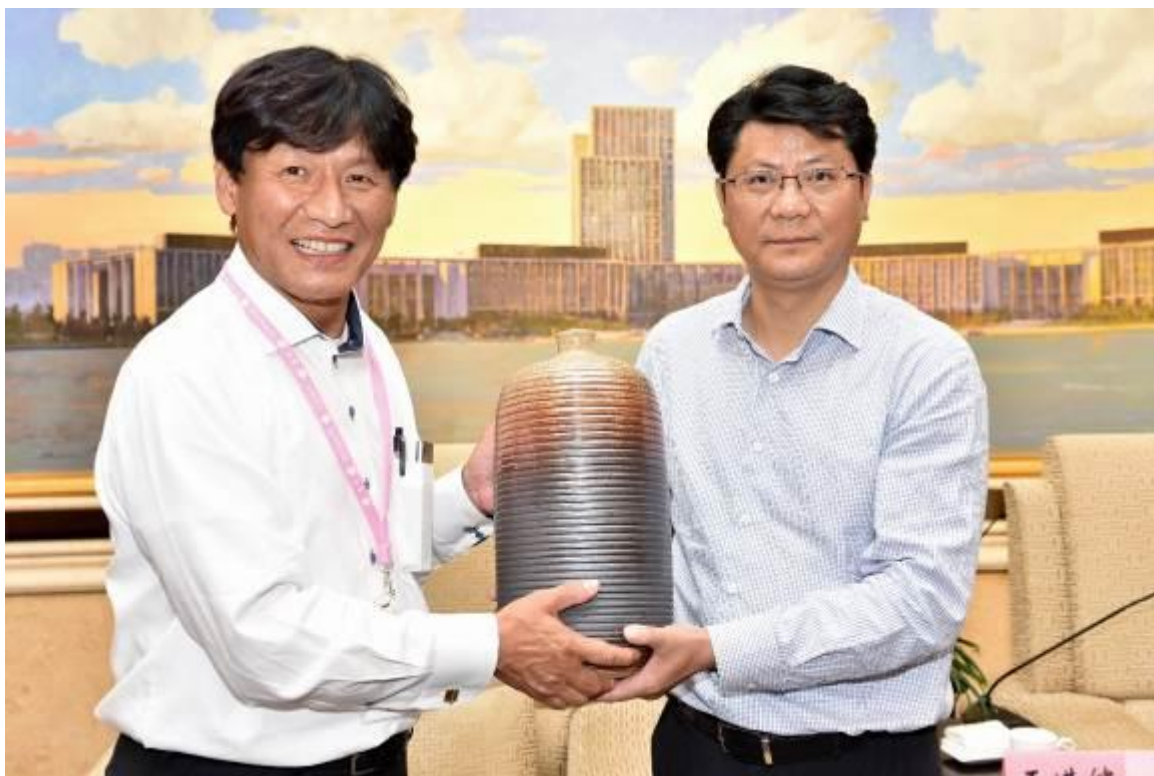
記念品：豊川市からは、豊川市在住の陶芸家である後田和孝先生が製作した三宝焼の壺「手筒花火」を贈呈しました。（別紙1のとおり）

無錫市新呉区からは、古代の楽器である「甌」のレプリカが贈呈されました。（別紙2のとおり）

4 記念品の展示

無錫市新呉区からいただいた記念品は、市役所1階ロビーの展示ケース内で展示しています。

【お問い合わせ先】 豊川市役所 市民部市民協働国際課 : 木和田、辻
TEL : 0533-89-2158 FAX : 0533-95-0010
mail : kyodokokusai@city.toyokawa.lg.jp



豊川市からの記念品：三宝焼の壺「手筒花火」 竹本幸夫副市長（左）と王進健書記（右）



さんぼうやき
三宝焼「手筒花火」

「手筒花火」は、作者である豊川市在住の陶芸家「後田和孝先生」の祖父の後田凡平氏が創設した焼き物「三宝焼」の壺です。

三河地方に伝わる手筒花火をイメージし、壺全体は竹に縄を巻きつけた手筒花火の筒を表し、色合いは漆黒の夜空に天高く吹き上がる火花を表現しています。



無錫市新呉区からの記念品：古代の楽器である「甗」のレプリカ
竹本幸夫副市長（左）と王進健書記（右）



古代の楽器「甗」

無錫市のこうざん鴻山遺跡で出土した古代の楽器である「甗」は青磁製で、もともと酒甕であつたようですが、後に酒を飲む者が手でこの甕を叩いて興を添えるようになってから、徐々に打楽器の一種に変貌していったそうです。「史記」にも春秋時期の「甗」にまつわる古事が記載されています。

新呉区からいただいた「甗」のレプリカは、陶磁器の専門家による精巧に作られた作品で、本物の1/2のサイズで作られています。